

令和2年度 第2回生涯学習部研修会 活動報告

日時：令和2年11月1日（日）

会場：山形県立保健医療大学 第1講義室

参加者：38名

内容（日程）： 必須テーマ（4単位） 選択テーマ1単位

9:25～	会長挨拶		
9:30～10:30	「A-4 人間関係および接遇」（必須）	山形県立河北病院	丹野則子先生
10:40～11:40	「A-1 理学療法と倫理」（必須）	山形済生病院	岩田好子先生
12:40～13:40	「A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）」（必須）	山形徳洲会病院	山本洋介先生
13:50～14:50	「C-2 運動器疾患の理学療法」（選択）	最上町立最上病院	多田雄一先生
15:00～16:00	「A-3 リスクマネジメント」（必須）	山形済生病院	鈴木健太先生

第2回生涯学習部研修会を終えて

第2回研修会は第1回と同様に感染対策に十分注意し、対面での講義を開催しました。世間はまだまだ新型コロナ禍でしたが、新入会員や講師の方々には事前の体調管理や当日の感染対策等、多くのご協力をいただき、無事に開催することができました。また、第1回研修会での感染予防策を参考にすることで、滞りなく研修会を開催・進行することができたのではないかと思います。

次年度以降の生涯学習部研修会の開催方法については、新型コロナウイルスの感染状況に影響されると思いますが、新入会員の学習機会を確保し、新入会員の交流の場としても、研修会の開催を検討していければと思います。また、新たな生涯学習制度の周知にも努めて参りたいと思います。

新入会員より

コロナ禍の中、感染対策を十分に配慮し、第2回生涯学習部研修会を開催していただいたことに感謝申し上げます。対面研修を行えてとても充実した1日を過ごすことができました。

今年度から理学療法士として勤務させていただいており、運動器疾患や中枢疾患など担当させていただく機会が多くあります。今回の「運動器疾患の理学療法」について講義を受け、基礎的な知識から臨床にて評価するポイント、アプローチの仕方など様々なことを学ぶことができました。まだまだ知識不足であることを痛感しました。疾患にとらわれず、患者様一人一人にあった治療を提供できるよう日々勉強していかなければならないのだと感じました。

今回の研修会を通して得た知識を活かし、一日でも早く患者様のため、治療に生かしていきたい、向き合っていきたいと思います。

三友堂病院 平 梨花

初めに、生涯学習部研修会を開催していただき、参加できたことを大変嬉しく思います。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、様々なイベント、研修会等が中止になり、病院内外において同期や先輩方とのコミュニケーションをとる機会が限られました。その中で、この度の研修会では接遇やリスクマネジメント、各疾患における理学療法について臨床で働く理学療法士の先生方から直接学ぶことができました。大学の講義とは違い、臨床場面で生まれる疑問と結び付けながら受ける講義は新鮮で、大変勉強になりました。

特に、最も印象的だった講義は「運動器疾患の理学療法」です。私は運動器疾患の患者様を担当することが多いため、講師の先生が実際にあった経験談を踏まえて話して下さった基礎知識の応用や動作分析等がとても記憶に残りました。

今回の研修会によって得られた大きなポイントは、疑問にどう立ち向かうか考えるきっかけができたことだと思います。改めて学ぶことができた基礎知識の重要性や患者様との関わり方をさらに復習し活用していきたいと思います。

少しでも早く山形県理学療法士の一員として貢献できるよう、新人同士切磋琢磨し、成長していきたいと思います。

山形済生病院 鈴木 菜々香

講義風景



(文責：三友堂病院 富本裕樹)